



# 保護命令申立書

平成 年 月 日

旭川地方裁判所民事部 御中

申立人

印

## 第1 当事者（等）の表示

別紙当事者（等）目録記載のとおり

## 第2 申立ての趣旨

### [退去命令]

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して2か月間、別紙当事者目録記載の住居から退去せよ。

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して2か月間、上記記載の住居の付近をはいかいしてはならない。

※ 生活の本拠を相手方とともにしている場合に、退去命令と住居付近のはいかい禁止を求める申立てです。

### [接近禁止命令]

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙当事者目録記載の住居以外の場所において申立人の身邊につきまとい、又は同住居以外の申立人の勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 生活の本拠を相手方とともにしている場合に、住居付近のはいかい禁止以外の接近禁止命令を求める申立てです。

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人の身邊につきまとい、又は申立人の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 既に別居している場合に、接近禁止命令を求める申立てです。

### [子への接近禁止命令]

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙当事者（等）目録記載の住居以外の場所において

申立人の子 (平成 年 月 日生)

申立人の子 (平成 年 月 日生)

申立人の子 (平成 年 月 日生)  
の身边につきまとい、又は同住居以外の同人の就学する学校その他その通常  
所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 申立人と相手方が生活の本拠をともにしており、子も同居している場合の子への接近禁止命令を求め  
る申立てです。

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、  
 申立人の子 (平成 年 月 日生)  
 申立人の子 (平成 年 月 日生)  
 申立人の子 (平成 年 月 日生)  
の身边につきまとい、又は同人の住居、同人の就学する学校その他その通常  
所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 申立人と相手方が生活の本拠をともにしておらず、子が申立人と同居している場合の子への接近禁  
止命令を求める申立てです。

#### [親族等への接近禁止命令]

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人の親族  
(等)の住居その他の場所において申立人の親族(等)の身边につきまとい、  
又は申立人の親族(等)の住居、勤務先その他申立人の親族(等)の通常所  
在する場所の付近をはいかいしてはならない。

#### [電話等の禁止命令]

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人に対し、  
次に掲げるいずれの行為もしてはならない。

- 1 面会を要求すること
- 2 その行動を監視していると思わせるような事項を告げ、又はその知り得  
る状態に置くこと。
- 3 著しく粗野又は乱暴な言動をすること。
- 4 電話をかけて何も告げず、又は緊急やむを得ない場合を除き、連続して、  
電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、若しくは電子メールを送  
信すること。
- 5 緊急やむを得ない場合を除き、午後10時から午前6時までの間に、電  
話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、又は電子メールを送信する  
こと。
- 6 汚物、動物の死体その他の著しく不快又は嫌悪の情を催させるような物  
を送付し、又はその知り得る状態に置くこと。
- 7 その名誉を害する事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 8 その性的羞恥心を害する事項を告げ、若しくはその知り得る状態に置き、  
又はその性的羞恥心を害する文書、図画その他の物を送付し、若しくはそ  
の知り得る状態に置くこと。

申立費用は、相手方の負担とする。

との裁判を求める。

### 第3 申立ての理由

#### 1 当事者

※ 婚姻関係、内縁関係、交際関係の状況について記載してください。

(1) 婚姻した日、内縁関係又は同居を開始した日

昭和・平成 年 月 日

(2) 現在も同居しています。

平成 年 月 日から一時避難しています。

※ 生活の本拠は元の住所であるが、一時的に避難をしている場合に記載します。

平成 年 月 日から別居しています。

平成 年 月 日離婚しました。

#### 2 相手方から身体に対する暴力を受けた状況

※ 身体に対する暴力を受けた場合のみ記載してください。

(1)① 平成 年 月 日ころ

② 場所は、自宅で （自宅以外の）

③ そのときの暴力は、

というものです。

④そのときは、けがをしませんでした。

⑤そのときの暴力で、

というけがをしました。

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、入院 日間、通院 日が必要でした。

入院 通院先の住所・名称は

(2)① 平成 年 月 日ころ

② 場所は、自宅で （自宅以外の）

③ そのときの暴力は、

というものです。

④そのときは、けがをしませんでした。

⑤そのときの暴力で、

というけがをしました。

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、入院 日間、通院 日が必要でした。

入院 通院先の住所・名称は

- (3)① 平成 年 月 日ころ  
② 場所は、自宅で （自宅以外の）  
③ そのときの暴力は、

というものです。

- ④そのときは、けがをしませんでした。  
⑤そのときの暴力で、

というけがをしました。

- 医師の治療は受けませんでした。  
治療のために、入院 日間、通院 日が必要でした。  
入院 通院先の住所・名称は

です。

### 3 相手方から、生命又は身体に対し害を加える旨の脅迫を受けた状況

※ 生命又は身体に対し害を加える旨の脅迫を受けた場合にのみ記載してください。

- (1)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。

- (2)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。

- (3)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。

- (4)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。



(2) 申立人が同居している子への接近禁止を求める理由

※ 相手方が申立人と同居している子に接近することにより、申立人が相手方と面会することを余儀なくされると思われる具体的な事情を記載してください。

6 親族等への接近禁止を求める理由

※ 親族等への接近禁止命令を合わせて求める場合にのみ記載してください。

ふりがな

(1) 氏名 ( )

相手方が親族等に接近することにより、申立人が相手方と面会することを余儀なくされると思われる具体的な事情

ふりがな

(2) 氏名 ( )

相手方が親族等に接近することにより、申立人が相手方と面会することを余儀なくされると思われる具体的な事情

## 7 電話等禁止命令を求める理由

※ 電話等禁止命令を合わせて求める場合にのみ記載してください。

## 8 配偶者暴力相談支援センター又は警察に相談を求めるなどした事実

(1) 平成 年 月 日午前・後 時ころ

- ①相談機関 警察 ( 警察署 )  
配偶者暴力相談支援センター ( )
- ②相談内容 相手方から受けた身体に対する暴力，生命・身体に対する脅迫の状況  
相手方から更なる身体に対する暴力のおそれ大きい事情  
子への接近禁止命令を求める必要がある事情  
親族等への接近禁止命令を求める必要がある事情
- ③措置の内容 保護命令制度の情報提供  
一時保護

(2) 平成 年 月 日午前・後 時ころ

- ①相談機関 警察 ( 警察署 )  
配偶者暴力相談支援センター ( )
- ②相談内容 相手方から受けた身体に対する暴力，生命・身体に対する脅迫の状況  
相手方から更なる身体に対する暴力のおそれ大きい事情  
子への接近禁止命令を求める必要がある事情  
親族等への接近禁止命令を求める必要がある事情
- ③措置の内容 保護命令制度の情報提供  
一時保護

## 9 まとめ

よって、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づき、本件保護命令の申立てをいたします。

### 添 付 書 類

- 申立書写し 1 通
- 申立書補充書及び同写し 各 1 通
- 戸籍謄本 通
- 住民票 通
- 子の同意書（子が 15 歳以上の場合） 通
- 親族（等）の同意書 通
- 宣誓供述書及び同写し 各 1 通
- 診断書写し 2 通
- 被害状況の写真 2 通
-



(別紙)

当 事 者 ( 等 ) 目 録

申立人

郵便番号 ー

住 所

氏 名

電話番号

送達場所

相手方

郵便番号 ー

住 所

氏 名

電話番号

親族等の表示 (※親族等への接近禁止命令を求める場合に記載する。)

住所

氏名 (申立人との関係 )

住所

氏名 (申立人との関係 )

住所

氏名 (申立人との関係 )

【子用～同時申立て】

# 同意書

申立人

相手方

上記当事者間の配偶者暴力等に関する保護命令事件につき、申立人の次の行為に同意します。

相手方が私に接近することを禁ずる申立て

平成 年 月 日

(住所)  申立人と同じ

(子の氏名)

印

印

旭川地方裁判所 御中

【注意】 15歳以上の子は本人が署名してください。印鑑がない場合は押印は不要です。

【親族等用～同時申立て】

# 同意書

申立人

相手方

上記当事者間の配偶者暴力等に関する保護命令事件につき、申立人の次の行為に同意します。

相手方が私に接近することを禁ずる申立て

平成 年 月 日

(住所)

(氏名)

印

(申立人との関係)

旭川地方裁判所 御中

【注意】 15歳以上の者は本人が署名してください。印鑑がない場合は押印は不要です。

15歳未満の者又は成年被後見人の場合は、法定代理人の同意が必要です。

【未成年親族等用～同時申立て】

## 同 意 書

申 立 人

相 手 方

上記当事者間の配偶者暴力等に関する保護命令事件につき、申立人の次の行為に同意します。

相手方が下記の者に接近することを禁ずる申立て

記

(住 所)

(氏 名)

(申立人との関係 )

平成 年 月 日

上記 \_\_\_\_\_ 法定代理人親権者父

(住 所)

(氏 名)

\_\_\_\_\_ 印

平成 年 月 日

上記 \_\_\_\_\_ 法定代理人親権者母

(住 所)

(氏 名)

\_\_\_\_\_ 印

# 〈記載例〉



## 保 護 命 令 申 立 書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

旭川地方裁判所民事部 御中

申立人 甲 野 花 子 ⑤

### 第 1 当事者（等）の表示

別紙当事者（等）目録記載のとおり

### 第 2 申立ての趣旨

#### [退去命令]

■ 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して2か月間、別紙当事者目録記載の住居から退去せよ。

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して2か月間、上記記載の住居の付近をはいかいしてはならない。

※ 生活の本拠を相手方とともにしている場合に、退去命令と住居付近のはいかい禁止を求める申立てです。

#### [接近禁止命令]

■ 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙当事者目録記載の住居以外の場所において申立人の身辺につきまとい、又は同住居以外の申立人の勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 生活の本拠を相手方とともにしている場合に、住居付近のはいかい禁止以外の接近禁止命令を求める申立てです。

□ 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人の身辺につきまとい、又は申立人の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 既に別居している場合に、接近禁止命令を求める申立てです。

#### [子への接近禁止命令]

■ 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙当事者（等）目録記載の住居以外の場所において

■ 申立人の子 甲野太郎 (平成〇〇年〇〇月〇〇日生)

□ 申立人の子 (平成 年 月 日生)

## 〈記載例〉

申立人の子 (平成 年 月 日生)  
の身辺につきまとい、又は同住居以外の同人の就学する学校その他その通常  
所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 申立人と相手方が生活の本拠をともにしており、子も同居している場合の子への接近禁止命令を求め  
る申立てです。

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、  
 申立人の子 (平成 年 月 日生)  
 申立人の子 (平成 年 月 日生)  
 申立人の子 (平成 年 月 日生)  
の身辺につきまとい、又は同人の住居、同人の就学する学校その他その通常  
所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

※ 申立人と相手方が生活の本拠をともにしておらず、子が申立人と同居している場合の子への接近禁  
止命令を求める申立てです。

### [親族等への接近禁止命令]

■ 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人の親族  
(等)の住居その他の場所において申立人の親族(等)の身辺につきまとい、  
又は申立人の親族(等)の住居、勤務先その他申立人の親族(等)の通常所  
在する場所の付近をはいかいしてはならない。

### [電話等の禁止命令]

■ 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人に対し、  
次に掲げるいずれの行為もしてはならない。

- 1 面会を要求すること
- 2 その行動を監視していると思わせるような事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 3 著しく粗野又は乱暴な言動をすること。
- 4 電話をかけて何も告げず、又は緊急やむを得ない場合を除き、連続して、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、若しくは電子メールを送信すること。
- 5 緊急やむを得ない場合を除き、午後10時から午前6時までの間に、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、又は電子メールを送信すること。
- 6 汚物、動物の死体その他の著しく不快又は嫌悪の情を催させるような物を送付し、又はその知り得る状態に置くこと。
- 7 その名誉を害する事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 8 その性的羞恥心を害する事項を告げ、若しくはその知り得る状態に置き、又はその性的羞恥心を害する文書、図画その他の物を送付し、若しくはその知り得る状態に置くこと。

申立費用は、相手方の負担とする。

との裁判を求める。

# 〈記載例〉

## 第3 申立ての理由

### 1 当事者

※ 婚姻関係、内縁関係、交際関係の状況について記載してください。

(1) 婚姻した日、内縁関係又は同居を開始した日

昭和  平成 ○○年○○月○○日

(2)  現在も同居しています。

平成○○年○○月○○日から一時避難しています。

※ 生活の本拠は元の住所であるが、一時的に避難をしている場合に記載します。

平成 年 月 日から別居しています。

平成 年 月 日離婚しました。

### 2 相手方から身体に対する暴力を受けた状況

※ 身体に対する暴力を受けた場合のみ記載してください。

(1)① 平成○○年○○月○○日ころ

② 場所は、 自宅で  (自宅以外の) \_\_\_\_\_ で

③ そのときの暴力は、私の帰宅と夕食が遅くなったことに不満を募らせて、私の帰宅前に飲酒を始め、私が帰宅するや、酩酊状態にあった相手方は、私の首や胸をつかみ奥の六畳間に引き込み、「俺をなめているのか。飯も用意しないで、俺を飢え死にさせる気か。」等と怒鳴り散らしながら、私の顔面を4、5回殴り、腹部を足蹴にした。 \_\_\_\_\_ というものです。

④  そのときは、けがをしませんでした。

⑤  そのときの暴力で、 **加療2週間を要する顔面裂傷、腹部打撲傷** というけがをしました。

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、 入院 \_\_\_\_\_ 日間、 通院 1日が必要でした。

入院  通院先の住所・名称は **旭川市〇条〇丁目〇〇病院** です。

(2)① 平成 年 月 日ころ

② 場所は、 自宅で  (自宅以外の) \_\_\_\_\_ で

③ そのときの暴力は、 \_\_\_\_\_ というものです。

④  そのときは、けがをしませんでした。

⑤  そのときの暴力で、 \_\_\_\_\_ というけがをしました。

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、 入院 \_\_\_\_\_ 日間、 通院 \_\_\_\_\_ 日が必要でした。

入院  通院先の住所・名称は \_\_\_\_\_ です。

## 〈記載例〉

- (3)① 平成 年 月 日ころ  
② 場所は、自宅で （自宅以外の）  
③ そのときの暴力は、

というものです。

- ④そのときは、けがをしませんでした。  
⑤そのときの暴力で、

というけがをしました。

- 医師の治療は受けませんでした。  
治療のために、入院 日間、通院 日が必要でした。  
入院 通院先の住所・名称は

です。

### 3 相手方から、生命又は身体に対し害を加える旨の脅迫を受けた状況

※ 生命又は身体に対し害を加える旨の脅迫を受けた場合にのみ記載してください。

- (1)① 平成〇〇年〇〇月〇〇日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。  
■子供のことで口論となり、次第に興奮して、「俺の言うことが聞けないのか。ぶっ殺すぞ。」と怒鳴った。

というものです。

- (2)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。

- (3)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。

- (4)① 平成 年 月 日ころ  
② その脅迫の内容は、  
別紙記載のとおりです。

というものです。



## 〈記載例〉

- 4 ① 相手方からの更なる暴力により生命，身体に重大な危害を受けるおそれ  
大きいと思う理由（相手方から身体に対する暴力を受けた場合）  
② 相手方から受ける身体に対する暴力により生命，身体に重大な危害を受け  
るおそれ大きいと思う理由（相手方から身体等に対する脅迫を受けた場合）  
※ 前記①，②のうち該当するものについて記載してください。

前記①に該当します。

- (1) 相手方は飲酒量が多く，新婚のころより酒を飲んでは些細なことに立腹して私に暴力をふるってきました。  
(2) 平成〇年〇月〇日ころから，不満のはげぐちとして私にふるう暴力は次第にエスカレートしていき，平成〇年〇月〇日には，前に書いたとおりの暴力を受けました。  
(3) 私は，同日以降，生命の不安すら感じ，友人宅に身を寄せていますが，更なる暴力を受けるのではないかと不安で，衣服すら取りに戻れない状態にあります。相手方は，私の実家に電話し，「絶対に許さないからな。」，「どこにいる。居場所を突き止めてぶっ殺してやる。」と言い，また，私の友人宅にも片っ端から電話をしては，私の所在を突き止めようとしています。  
(4) 相手方が私の所在を発見するや，更なる暴力に及ぶ恐れは極めて高く，私の生命，身体に重大な危害を受ける恐れがあります。

## 5 子への接近禁止について

※ 子への接近禁止命令を合わせて求める場合にのみ記載してください。

(1)

子の氏名（<sup>ふりがな</sup> **甲野太郎**）  
生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日（満〇〇歳〇〇か月）

子の氏名（<sup>ふりがな</sup> ）  
生年月日 平成 年 月 日（満 歳 か月）

子の氏名（<sup>ふりがな</sup> ）  
生年月日 平成 年 月 日（満 歳 か月）

## 〈記載例〉

### (2) 申立人が同居している子への接近禁止を求める理由

※ 相手方が申立人と同居している子に接近することにより、申立人が相手方と面会することを余儀なくされると思われる具体的な事情を記載してください。

相手方は、逆上すると何をするか分からないところがあり、私を捜すために、子供の通学する学校で子供を待ち受け、子供を問いつめたり、そのまま連れ去る可能性があります。その上で、私に対して、子供の引き取りを求めてくることが予想されます。

## 6 親族等への接近禁止を求める理由

※ 親族等への接近禁止命令を合わせて求める場合にのみ記載してください。

ふりがな おつ やま じ ろう

### (1) 氏名 ( **乙 山 次 郎** )

相手方が親族等に接近することにより、申立人が相手方と面会することを余儀なくされると思われる具体的な事情

相手方は、私を捜すために、私の実家に電話をしていますが、今後は、直接私の実家に行って私の実親を問いつめ、「申立人がここに帰って来るまで居させてもらおう。」、「申立人を早く連れてこないとお前らをぶん殴る。」などと、私の実親を脅迫し、私との面会を求めてくることが予想されます。

ふりがな おつ やま えい こ

### (2) 氏名 ( **乙 山 A 子** )

相手方が親族等に接近することにより、申立人が相手方と面会することを余儀なくされると思われる具体的な事情

(1)と同じ

## 〈記載例〉

### 7 電話等禁止命令を求める理由

※ 電話等禁止命令を合わせて求める場合にのみ記載してください。

前に書いたとおり，申立人は，相手方からの更なる暴力により，生命，身体に重大な危害を受ける恐れが大きく，また，相手方は，これまでも昼中深夜を問わず何度も電話を掛けたりするなどして，面会を求めたり，「俺をなめてるのか。」と乱暴なことを言ったことがあるため。

### 8 配偶者暴力相談支援センター又は警察に相談を求めるなどした事実

(1) 平成〇〇年〇〇月〇〇日午<sup>①</sup>・後〇〇時ころ

- ①相談機関  警察（ 〇〇〇 警察署）  
 配偶者暴力相談支援センター（ ）
- ②相談内容  相手方から受けた身体に対する暴力，生命・身体に対する脅迫の状況  
 相手方から更なる身体に対する暴力のおそれ大きい事情  
 子への接近禁止命令を求める必要がある事情  
 親族等への接近禁止命令を求める必要がある事情
- ③措置の内容  保護命令制度の情報提供  
 一時保護

(2) 平成〇〇年〇〇月〇〇日午前・<sup>②</sup>〇〇時ころ

- ①相談機関  警察（ 警察署）  
 配偶者暴力相談支援センター（ 〇〇センター ）
- ②相談内容  相手方から受けた身体に対する暴力，生命・身体に対する脅迫の状況  
 相手方から更なる身体に対する暴力のおそれ大きい事情  
 子への接近禁止命令を求める必要がある事情  
 親族等への接近禁止命令を求める必要がある事情
- ③措置の内容  保護命令制度の情報提供  
 一時保護

## 〈記載例〉

### 9 まとめ

よって、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づき、  
本件保護命令の申立てをいたします。

添 付 書 類

- 申立書写し 1 通
- 申立書補充書及び同写し 各 1 通
- 戸籍謄本 1 通
- 住民票 1 通
- 子の同意書（子が 15 歳以上の場合） 1 通
- 親族（等）の同意書 1 通
- 宣誓供述書及び同写し 各 1 通
- 診断書写し 2 通
- 被害状況の写真 2 通
-

# 〈記載例〉

(別紙)

## 当 事 者 (等) 目 録

### 申立人

郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇  
住 所 旭川市〇〇条〇〇丁目〇〇番〇〇号  
氏 名 甲 野 花 子  
電話番号 〇〇-〇〇〇〇  
送達場所

### 相手方

郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇  
住 所 旭川市〇〇条〇〇丁目〇〇番〇〇号  
氏 名 甲 野 一 郎  
電話番号 〇〇-〇〇〇〇

親族等の表示 (※親族等への接近禁止命令を求める場合に記載する。)

住 所 旭川市〇〇町〇番〇号  
氏 名 乙 山 次 郎 (申立人との関係 実父 )  
住 所 旭川市〇〇町〇番〇号  
氏 名 乙 山 A 子 (申立人との関係 実母 )  
住 所  
氏 名 (申立人との関係 )